

令和8年度

私費外国人留学生選抜 学生募集要項



(フランス式庭園)

豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ

宇都宮大学

<https://www.utsunomiya-u.ac.jp>

宇都宮大学では、地震、風水害等の災害により被害を受けた受験者の皆さんに対し、入学検定料を免除する制度があります。詳細は、24ページをご覧ください。

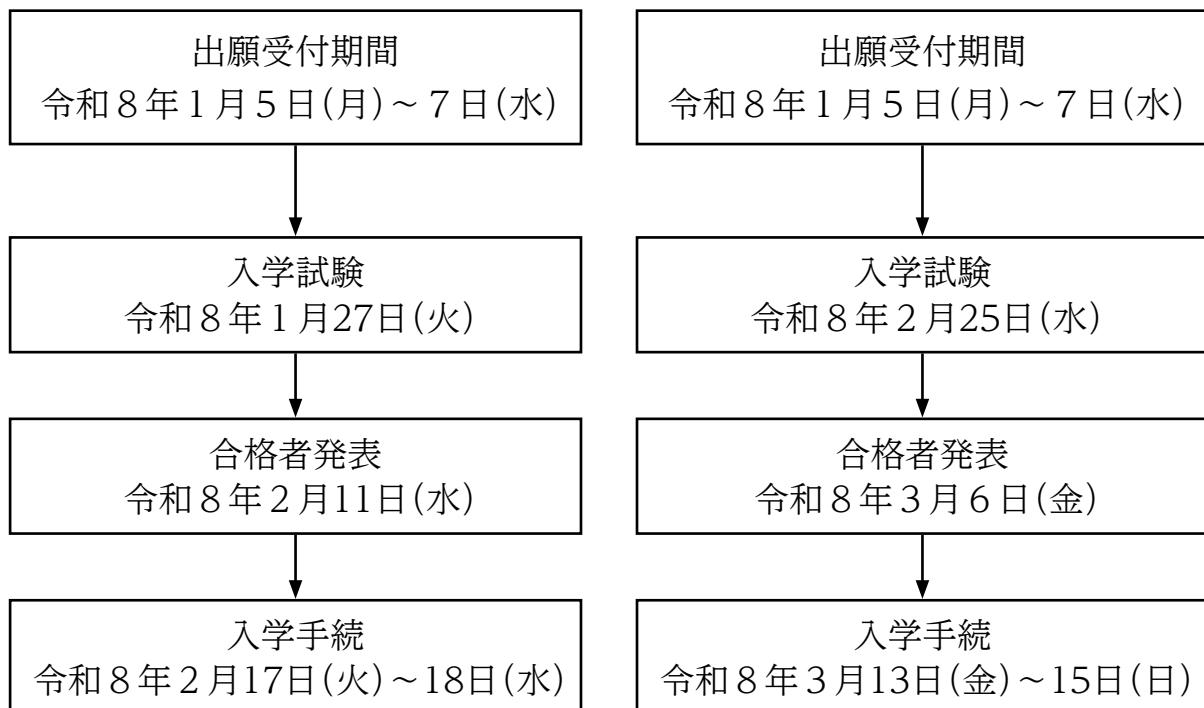
また、入学時にも、入学料や授業料の免除・徴収猶予、学生寮の優先的入居などについて、できるだけの配慮を致します。

困難な状況が続いていると思いますが、是非とも夢を失わず、真っ直ぐに前を見ながら歩んでください。応援しています。

【私費外国人留学生選抜主要日程】

国際学部・農学部

地域デザイン科学部・工学部



～個人情報の取扱いについて～

本学では、出願に際し提出いただいた氏名、生年月日、性別、住所、写真、成績その他及び入学試験に関する成績の個人情報は、次の範囲内で利用するとともに適正な管理に努めます。

- ① 入学者選抜、入学手続など入学までの一連の業務
- ② 入学後の修学関係（学生証交付、履修指導、名簿作成等）及び学生生活関連（奨学金、授業料免除等）の業務
- ③ その他、本学の教育・研究、学生支援に必要な業務及び統計・分析のための資料作成等

《目 次》

1	宇都宮大学の理念と方針、教育目標	1
2	宇都宮大学のアドミッション・ポリシー	1
3	募集人員	20
4	出願資格	20
5	出願上の留意事項	21
6	出願手続	21
(1)	出願期間	21
(2)	出願方法	21
(3)	出願書類等及び記入要領等	21
(4)	入学検定料免除について	24
(5)	出願先	25
(6)	受験票の送付	25
7	疾病・負傷や身体障がい等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談	25
8	選抜の方法及び試験科目・日程等	26
(1)	選抜の方法	26
(2)	試験科目等	26
(3)	試験日及び試験場等	27
(4)	試験スケジュール	28
9	受験上の注意事項	29
(1)	試験当日の注意事項	29
(2)	不正行為	29
10	入試過去問題の使用について	30
11	合格者発表	30
12	入学手続	31
(1)	手続期間	31
(2)	入学手続方法	31
(3)	入学手続時に必要な納付金等	31
(4)	入学後に必要な諸経費	31
(5)	マイナンバーカードの使用について	31
13	その他	31
14	令和7年度私費外国人留学生選抜入学者選抜状況	32
15	試験場案内図	33

1 宇都宮大学の理念と方針、教育目標

★理念と方針

宇都宮大学は、人類の福祉の向上と世界の平和に貢献することを理念とし、広く社会に開かれた大学として、質の高い特色ある教育と研究を実践するため、次の基本的な方針を定めています。

1. 幅広く深い教養と実践的な専門性を身につけ、未来を切り開く人材を育成します。
2. 持続可能な社会の形成を促す研究を中心に、高水準で特色のある研究を推進します。
3. 地域社会のみならず広く国際社会に学び貢献する活動を積極的に展開します。

この理念と方針を基に、次の「教育目標」を掲げています。

★教育目標

1. 基盤教育を出発点として、現代社会に必要な汎用的能力（宇大スタンダード）を育成します。
2. 専門教育を通じて、実践的で専門的な知識と技能を涵養します。
3. それらのふたつを有機的に結びつけた4年一貫教育により、幅広い教養と行動的知性を備え、未来の社会を拓き支える人材を育成します。

宇大スタンダード

【論理的思考力】筋道を立てて論理的に物事を考える力

【情報活用力】情報及び情報手段を主体的に選択し、活用する力

【表現力】感情や思考などを伝達可能な形式に表し、効果的・印象的なものとして伝える力

【学修力】一人称で物事を捉え自ら行動し、進んで新しい知識・能力を身に付けようとする力

変化に対応し、自らを変えようとする力

【協働力】チームの中で協力しながら自分の役割や責任を果たす力

多様な人々との繋がりや協働を生み出す力

【課題解決力】多面的な視点から現状を分析し、目的や課題を明らかにする力

課題解決に向けた計画を立案し、自律的に取組む力

2 宇都宮大学のアドミッション・ポリシー

宇都宮大学アドミッション・ポリシー

求める学生像と受け入れの基本方針

1. 未来を切り開いていくこうとする夢と情熱を持っている人
2. 知的好奇心に富み、専門職業人として持続可能な社会の形成や発展に貢献したい人
3. 教養と専門知識を修得するために必要な基礎的な学力とコミュニケーション力を持っている人

地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

地域社会の成り立ちや課題を理解するために必要な、幅広い教養を身につけるとともに、地域の現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、公共政策、地方自治、経済、経営、自然、文化、食生活、観光、社会福祉、社会教育、NPO等の専門分野を専攻しながら、これらを応用した地域デザイン能力・分析技術を養います。以上の学びを通じ、地域資源を活用して地域に活力を生み出す能力、新たな社会システムを提案する発想力、そして円滑なコミュニケーションや合意形成を図る実践力を身に付け、21世紀の地域社会の担い手として活躍できる学生に「学士（コミュニティデザイン学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拓げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身についていきます。ループリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	学部共通科目では、学科の枠を超えて3学科混成のグループで、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション等を通じて、多様な分野を融合した地域デザイン科学を総合的に学修します。学科専門科目では、公共政策、地方自治、経済、経営、自然、文化、食生活、観光、社会福祉、社会教育、NPO等の専門分野を専攻しながら、これらを応用した地域デザイン能力・分析技術を養います。21世紀の地域社会の担い手として、地域の社会集団や制度等をデザインする人材を育成するために、地域社会の成り立ちや課題を理解するための教養を身につけるとともに、地域のさまざまな現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。	地域の課題や主題について幅広い視点から理解するための人文・社会科学の基礎的な知識、自然科学分野の理解や社会調査データの解析に必要な数理についての基礎的な知識が必要です。また、地域の現状と課題について実践的に学ぶための現場への訪問・実習および、教員や学生同士の協働的学修の場面に必要な、基礎的なコミュニケーション能力が不可欠です。さらに、問うべき地域社会の問題を自ら設定する課題設定能力、資料・データ・文献を収集する能力、適切な方法を用いてそれらを分析した上で、論理的にまとめる能力、その成果に基づいて説得的に議論を行なう能力、課題解決に関与する実践的行動力を必要とします。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

文理双方の基礎力を身に付けるとともに、理論的知識が、地域社会とどのような関係を持つのかを意識しながら、学習に取り組んでください。また、日々の生活を送り、読書をし、新聞を読み、メディアを視聴する際にも、地域社会の課題を発見し、その課題解決の方法を見いだすように努力してみてください。そしてその成果について、ぜひ友人、家族、先生、身近な人などに、分かりやすく伝えてみましょう。そうした考えに対する他人の意見に耳を傾け、ディスカッションを通じて、協働的にアイデアを深めていく機会を、積極的に経験し作り出すことを期待しています。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な
能力や適性等

- ①高等学校の教育課程による広範な基礎的知識を有する人
- ②地域の成り立ちを理解し、より良いコミュニティの創成を追究するために必要な技能を身に付ける意欲と適性を有する人
- ③学際的学修へ向けた論理的思考力と表現力を有する人
- ④地域の資源・社会システムの視点から、実践的にまちづくりを学ぶための判断力を身に付ける意欲と適性を有する人
- ⑤地域課題の解決に取り組むための主体性とコミュニケーション力を身に付ける意欲と適性を有する人
- ⑥地域や社会との関わりの中で多様な人々と協働して学ぶ態度を有する人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、「文系型」又は「理系型」のいずれかにより広く基礎学力をはかります。 個別学力検査等では小論文により、課題文や資料(図表や写真など)の読解、解釈を基に自らの考えを立案する能力、及びそれを論理的に表現する能力を問います。地域社会(コミュニティ)を取り巻く課題に取り組む学力、意欲、関心、主体性について評価します。 出願書類(調査書)では、総合的な観点から評価します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、「文系型」又は「理系型」のいずれかにより広く基礎学力をはかります。 個別学力検査等では直接により、自らの考えを立案する能力、及びそれを論理的に表現する能力を問います。地域社会(コミュニティ)についての関心と学修意欲、本学科での適性・能力などを評価します。出願書類(調査書)では、総合的な観点から評価します。
総合型選抜A (一般)	第1次選考として調査書、事前提出書類(活動経験等を踏まえた進学後の学習について)及びその他提出された書類により選考を行います。 また、第2次選考として直接、グループディスカッション、大学入学共通テストの成績等を総合して選考を行います。 各選考は「主体性・多様性・協働性」、「思考力・判断力・表現力」、「知識・技能」を総合して判断します。
私費外国人留学生選抜	出願書類、日本留学試験の成績、英語外部試験(TOEFL)のスコア、本学の学力検査等(小論文、直接)の結果を総合して選抜を行います。 小論文では、総合的な理解力、思考力、表現力、直接では、コミュニケーションデザインに関する意欲、問題意識、視野の広さ、将来設計を問います。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆		
		小論文	☆	☆☆☆		☆☆	
		出願書類(調査書)		○			
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆	☆	☆☆
総合型選抜	一般	直接	☆	☆☆		☆☆☆	
		出願書類(調査書)		○			
		大学入学共通テスト(注1)	☆☆☆	☆☆	☆		
		グループディスカッション・直接	☆	☆☆		☆☆☆	
私費外国人留学生選抜	一般	出願書類(調査書)		○			
		活動経験等を踏まえた進学後の学習について	☆	☆☆☆		☆☆	
		英語外部試験	☆☆☆	☆☆	☆		
		日本留学試験	☆☆☆	☆☆	☆		
面接				☆☆		☆☆☆	
小論文				☆☆☆	☆	☆☆	
出願書類(成績証明書等)				○			

(注1) 総合型選抜で課す大学入学共通テストの教科は、国語、数学及び外国語の3教科のみです。

(i) ○は、確認・参考のみとするもの。合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

従来の建築や空間からの発想に加えて、都市や人々などの社会環境も考慮して、地域の実情に合った生活空間をデザインできる人材を育成します。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、建築・都市デザイン学の基礎を学び一級建築士の国家資格取得に向けた素養を身につけるとともに、先端技術や少子高齢化社会、環境・エネルギー問題、防災・減災へのリスク対策等を学び、現代の社会課題の解決に応用する力・分析技術を養います。以上の学びを通じ、地域資源を活用して地域に活力を生み出す能力、新たな社会システムを提案する発想力、そして円滑なコミュニケーションや合意形成を図る実践力を身に付け、21世紀の地域社会の担い手として活躍できる学生に「学士（工学）」の学位を授与します。卒業と同時に一級建築士の国家試験を受験する資格が得られるカリキュラムです。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拓げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身についていきます。ループリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	学部共通科目では、学科の枠を超えて3学科混成のグループで、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション等を通じて、多様な分野を融合した地域デザイン科学を総合的に学修します。学科専門科目では、建築・都市デザイン学の基礎を学び、一級建築士の国家資格を取得できる素養を身につけるとともに、建築の先端技術や建築をとりまく社会の構造変化を理解します。また、少子高齢化社会、環境・エネルギー問題、防災・減災へのリスク対策を学び、現代の社会課題の解決に応用する力を養います。さらに、社会をハード・ソフトの両面から支える人材を育成するために、実際の地域課題を取り組むことで建築の仕事に関わる異業種の人々と連携する力を培います。	建築・都市デザインの基礎を学ぶために、高等学校の教育課程による広範な基礎的知識が必要です。また、数学を中心とした理数系科目に関する応用力と、多様な人々と意思疎通をはかるためのコミュニケーション能力が必要です。建築・都市デザインの専門技術を学ぶために、安全・安心で快適な建築空間を創造するために必要な論理的思考力、工学的判断力や、建築設計の基礎となる空間把握能力、表現力、デザイン能力を身に付ける意欲と適性を有している必要があります。また、人間生活・社会・自然を含む地球環境と建築・都市デザインとの関わりや、歴史・文化・芸術を活かした建築・都市空間の創造を追究する態度を有している必要があります。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

文理双方の基礎力を身に付けるとともに、理論的知識が、地域社会とどのような関係を持つのかを意識しながら、学習に取り組んでください。建築の工学的側面を学修するために、[数学]は基礎・応用力が、[理科]は基礎力が重要です。建築の社会的側面や芸術・文化的側面の学修には、[社会]等への関心も求められます。また論理的な文章を構成できる[国語][英語]の基礎力が重要です。設計製図は、入学後に基礎から学ぶため事前に必要な知識・技能はありませんが、主体的に学ぶ姿勢が重要です。これらの基礎力とともに、建築学の学修と社会貢献への高い意欲をもつ方を歓迎します。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

- | | |
|-------------------|--|
| 入学時に必要な
能力や適性等 | <p>①高等学校の教育課程による広範な基礎的知識を有する人
 ②建築・都市デザインの専門技術を学ぶために必要な基礎的技能や、多様な人々と意思疎通をはかるためのコミュニケーション能力を有する人
 ③安全・安心で快適な建築空間を創造するために必要な論理的思考力、工学的判断力を身に付ける意欲と適性を有する人
 ④建築設計の基礎となる空間把握能力、表現力、デザイン能力を身に付ける意欲と適性を有する人
 ⑤人間生活・社会・自然を含む地球環境と建築・都市デザインとの関わりを学ぶ態度を有する人
 ⑥歴史・文化・芸術を活かした建築・都市空間の創造を追究する態度を有する人</p> |
|-------------------|--|

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力はかります。個別学力検査では広く基礎学力に加え、思考力と論理的に記述し表現する能力を重点的に評価するため、主体的に解答に取り組むことが必要な記述式の問題を多く出題します。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類(調査書)等により評価します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力はかります。個別学力検査等では面接により、建築・都市デザインに対する関心度や意欲等を問います。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類(調査書)等により評価します。
総合型選抜A (一般)	造形実技及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。造形実技では、立体・空間の構成を把握・表現する能力等を検査します。面接では、建築・都市デザインに対する関心度や意欲等を問います。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類(調査書)等により評価します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験では英語の、日本留学試験では日本語、数学および理科の基礎学力をかります。個別学力検査等では面接により、建築・都市デザインに対する関心度や意欲等を問います。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類(調査書)等により評価します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆			
		個別学力検査	☆☆	☆☆☆			
		出願書類(調査書)		○			
一般選抜	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆			
		面接	☆	☆☆	☆☆	☆☆☆	
		出願書類(調査書)		○			
私費外国人留学生選抜	A(一般)	面接	☆	☆☆	☆☆	☆☆☆	
		造形実技	☆☆	☆☆☆			
		出願書類(調査書)		○			
	英語外部試験	☆☆☆					
	日本留学試験	☆☆☆	☆☆				
	面接	☆	☆☆	☆☆	☆☆☆		
	出願書類(成績証明書等)		○				

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

地域社会の成り立ちや課題を理解するために必要な、幅広い教養を身につけるとともに、地域の現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、生活の向上や社会経済の発展を支える社会基盤、すなわち電気・水・情報通信などのライフラインや道路、橋梁、港湾、建設材料、エネルギー施設、河川、環境、防災、マネジメント等の専門分野を専攻しながら、これらを応用した地域デザイン能力・分析技術を養います。以上の学びを通じ、地域資源を活用して地域に活力を生み出す能力、新たな社会システムを提案する発想力、そして円滑なコミュニケーションや合意形成を図る実践力を身に付け、21世紀の地域社会の担い手として活躍できる学生に「学士（工学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拓げるため、(1) 大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2) 英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3) 自ら問い合わせを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身についていきます。ループリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	学部共通科目では、学科の枠を超えて3学科混成のグループで、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション等を通じて、多様な分野を融合した地域デザイン科学を総合的に学修します。学科専門科目では、生活の向上や社会経済の発展を支える社会基盤、すなわち電気・水・情報通信などのライフラインや道路、橋梁、港湾、建設材料、エネルギー施設、河川、環境、防災、マネジメント等の専門分野を専攻しながら、これらを応用した地域デザイン能力・分析技術を養います。21世紀の地域社会の担い手として、地域の社会集団や制度等をデザインする人材を育成するために、地域社会の成り立ちや課題を理解するための教養を身につけるとともに、地域のさまざまな現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。	地域の課題や主題について幅広い視点から理解するための工学・自然科学分野の基礎的な知識、特に数学と物理の基礎的理解と応用力は不可欠です。また、社会科学の理解や社会調査データの解析に必要な数理についての基礎的な知識が必要です。また、地域の現状と課題について実践的に学ぶための現場への訪問・実習および、教員や学生同士の協働的学修の場面に必要な、基礎的なコミュニケーション能力が不可欠です。さらに、問うべき地域社会の問題を自ら設定する課題設定能力、資料・データ・文献を収集する能力、適切な方法を用いてそれらを分析した上で、論理的にまとめる能力、その成果に基づいて説得的に議論を行なう能力、課題解決に関する実践的行動力を必要とします。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

文理双方の基礎力を身に付けるとともに、理論的知識が、地域社会とどのような関係を持つのかを意識しながら、学習に取り組んでください。理工学教育のための数学や物理、化学など自然科学の基礎力、表現力の基となる国語・英語、社会的基礎知識である歴史や地理、公民など、幅広く学習することを期待します。当学科の入学試験の内容は、道路や鉄道、河川、港湾などインフラ施設や社会基盤をデザインする人材の成長のきっかけとなることを目指した内容になりますが、その多くが主体的に学ぶ姿勢が重要になります。皆さんのが学習を通して習得する基礎力とともに、入学後に学ぶ社会基盤整備への関心と社会貢献への高い意欲を持つことを望みます。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な
能力や適性等

- ①社会基盤の専門分野を学ぶ上での基礎となる高等学校までの科目の学習内容を十分理解している人
- ②高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力を備えている人
- ③社会基盤の専門分野に興味と関心があり、科学的、論理的に思考し、判断や表現ができる人
- ④学習の熱意や意欲及び行動力をもつ人
- ⑤社会全体の利益のために奉仕できる責任感と国内・海外の様々な地域の課題解決のためにグローバルに活躍する意欲がある人
- ⑥主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度及びそのためのコミュニケーション力が身についている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力はかり、理科では物理を必須科目としています。個別学力検査等では基礎学力に加え、思考力と論理的に記述し表現する能力を評価するため、主体的に解答に取り組むことが必要な記述式の問題を多く出題します。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類(調査書)等により評価します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力はかり、理科では物理を必須科目としています。個別学力検査等では、面接により、まちづくり及び社会基盤(インフラ)に関するあなたの考えを問います。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類(調査書)等により評価します。
総合型選抜A (一般)	プレゼンテーション、面接を総合して選考を行います。なお、面接では理工学教育を受けるための基礎能力に関する数学と物理の口頭試問を含みます。社会基盤デザイン分野に関する関心度や意欲、問題意識、視野の広さ、希望進路などを問い合わせ、総合して判断します。
私費外国人留学生選抜	基本的な学力と思考力を備えているかどうかを重視します。 地域における社会基盤デザインに対する熱意と問題解決に対する能力を評価の対象とします。 主体的な姿勢、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆		
		個別学力検査	☆☆	☆☆☆	☆☆		
		出願書類(調査書)			○		
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆		
総合型選抜	面接	面接			☆☆	☆☆☆	
	A(一般)	出願書類(調査書)			○		
私費外国人留学生選抜	プレゼンテーション・面接		☆☆	☆☆		☆☆☆	
	出願書類(調査書)			○			
	英語外部試験	☆☆☆					
	日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
	学力検査	☆☆☆	☆☆	☆			
	面接	☆☆				☆☆☆	
	出願書類(成績証明書等)			○			

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

国際学部 国際学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

国際学科では、グローバル化する地域の現状と課題を多文化共生の視点から読み解き、社会を構想していく能力やコミュニケーション能力、行動力、協調性を備えた、グローバルな実践力をもつ人材の育成をめざしています。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、グローバル化と多文化共生に関する知識・理解に基づき学際的かつ専門的に諸課題を考察する能力、複言語能力やコミュニケーション能力、資料・データ・文献の収集分析能力、論理的に研究成果をまとめ発表し議論する能力、実践的行動する能力を獲得し、グローバル化する世界の問題解決に積極的に関与できる学生に「学士（国際学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拓げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問い合わせ立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ループリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	国際学科では、グローバルな実践力に富む人材の育成を目指し、人文社会諸科学を融合させた体系的なカリキュラムを編成しています。多文化共生コア科目（国際関係論、異文化間コミュニケーション、Global Civil Society）（1年次）、多文化共生基礎科目（1～2年次）からグローバル実践力基礎科目（2年次）、専門外国語科目（2年次～）、グローバル専門科目（2年次～）、国際キャリア教育科目（2年次～）、専門演習・実験実習科目（3年次前半）の各科目群を経て、卒業研究準備演習（3年次後期）、卒業研究（4年次）へと段階的に学修を深めていきます。	多文化共生を軸とした専門教育の基礎となる主要な知識、論点を理解する能力、実用的かつ学術的な英語の運用能力、英語以外の外国语を学修し、多様な地域や文化を理解しコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度を有していること。また、社会文化的課題や問題を多様な地域や論点と関連づけ、多角的に理解する能力、グローバルな視点から問題を整理・分析する能力、自ら課題を設定し、資料・データ・文献を収集し、適切な方法で分析し、論理的にまとめ発表する能力（文書および口頭）、その成果に基づいて生産的に議論する能力、課題解決に関与する実践的行動力を身につけるための基礎的学力と意欲を必要とします。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

国際学科における教育課程を確実に修得するためには、高等学校で履修する教科・科目を広く学び、基礎的な知識を身につけておくことが求められます。また、様々な知識や情報をもとに、自分の考えをまとめ発信するためには、読解力に加え、論理的に考えを文章化する能力や、思考と感性を効果的に相手に伝える表現力、英語を中心とした外国语の運用能力が必要です。また、国際的な社会的事象に対して幅広い知識と関心をもち、自分の関心のあるテーマについては、図書館やインターネットなどを利用して自分で調べる習慣や、調べたことをもとに多様な人々とコミュニケーションをとる能力や意欲を持つことが重要です。上記のことにも加え、学習活動などを通じて、主体性をもって他の人々と協働し、共に学び合うという態度をもった学生を歓迎します。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ①高等学校教育課程の総合的学力を基礎とした広く基本的な知識を持ち、外国語の運用能力と、論理的な作文能力を備えている人
- ②多文化共生社会に関する問題について主体的に探求し、学修意欲に優れ、多様な現象について論理的に考え、思考と感性を表現することに適性を持っている人
- ③学修経験や国籍に関係なく、国際的な問題に高い意識を持ち、それらを論理的に論じることのできる能力を持っている人
- ④多様な外国語や情報収集・分析・発信の方法を学び、多様な地域や文化を背景とする人々とコミュニケーションをとりたいと思っている人
- ⑤多様な地域・文化を背景とする人々の存在に目を向け、共に学びあいながら、共に生きていく社会について考えたいと思っている人
- ⑥世界の様々な国と地域に関心を持ち、グローバル化する地域と世界の多文化共生のために自分の力を活かしたいと望んでいる人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストと個別学力検査等の結果、並びに出願書類（調査書）を総合して選抜を行います。広範かつ基本的な知識、それを活用した国際的な社会的事象についての思考力・判断力・表現力、本学科での学修に必要な基礎的な外国語運用能力、主体性等をみることに主眼をおきます。
学校推薦型選抜	出願書類（調査書、自己推薦書等）と面接を総合して選抜を行います。高等学校における学業成績等と、本学科で学ぶための適性や意欲、コミュニケーション能力、国際的な社会的事象に関する課題を理解し、知識を活用して導き出した自分の考えを自分の言葉で語ることのできる表現力をみることに主眼をおきます。
総合型選抜B (帰国生)	出願書類（成績証明書等）、小論文、英語外部試験のスコア、そして面接を総合して選抜を行います。国際的な社会的事象に対する関心、主体的かつ協調的に学修する意欲、文章理解力、思考力、論理構成力、表現力、帰国生としてこれまでに得た知識や経験を活用する力等、本学科で学修する適性と必要な学力をみることに主眼をおきます。
総合型選抜C (社会人)	出願書類（志望理由書等）、小論文、英語外部試験のスコア、そして面接を総合して選抜を行います。国際的な社会的事象に対する関心、主体的かつ協調的に学修する意欲、文章理解力、思考力、論理構成力、表現力、社会人としてこれまでに得た知識や経験を活用する力等、本学科で学修する適性と必要な学力をみることに主眼をおきます。
総合型選抜D (外国人生徒)	出願書類（志望理由書等）、小論文、英語外部試験のスコア、そして面接を総合して選抜を行います。国際的な社会的事象に対する関心、主体的かつ協調的に学修する意欲、文章理解力、思考力、論理構成力、表現力、外国人生徒としてこれまでに得た知識や経験を活用する力等、本学科での学修に必要な学力をはかり、適性をみることに主眼をおきます。
私費外国人留学生選抜	出願書類（成績証明書等）、日本留学試験の成績、英語外部試験のスコア、学力検査等を総合して選抜を行います。大学で学ぶための基礎学力を重視し、日本留学試験では「日本語」「総合科目」「数学（コース1）」を評価対象とします。国際的な社会的事象に対する関心、主体的かつ協調的に学修する意欲、論理的に考察する力、日本語を正確に理解し、表現する力、これまでに得た知識や経験を活用する力等、本学科での学修に必要な学力をはかり、適性をみることに主眼をおきます。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体性等	
一般選抜 前 期 日 程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆			
	個別学力検査	☆☆☆	☆☆		☆		
	小論文	☆☆☆	☆☆				
	出願書類（調査書）			○			
学校推薦型選抜	面接	☆	☆☆☆			☆☆☆	
	英語外部試験	○					
	出願書類（自己推薦書等）	☆☆☆	☆☆☆			☆☆☆	
総合型選抜 B（帰国生）	英語外部試験	☆☆☆			☆		
	面接	☆	☆☆☆			☆☆☆	
	小論文	☆☆	☆☆☆		☆		☆
	出願書類（成績証明書等）			○			
C（社会人）	英語外部試験	☆☆☆			☆		
	面接	☆	☆☆☆			☆☆☆	
	小論文	☆☆	☆☆☆		☆		☆
	出願書類（志望理由書等）	☆☆☆	☆☆☆			☆☆☆	
D（外国人生徒）	英語外部試験	☆☆☆			☆		
	面接	☆	☆☆☆			☆☆☆	
	小論文	☆☆	☆☆		☆		☆
	出願書類（志望理由書等）	☆☆☆	☆☆☆			☆☆☆	
私費外国人留学生選抜	英語外部試験	☆☆☆			☆		
	日本留学試験	☆☆☆			☆		
	面接	☆	☆☆☆			☆☆☆	
	小論文	☆☆☆	☆☆		☆		☆
出願書類（成績証明書等）				○			

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否・適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

工学部 基盤工学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

各自の志向に合った専門を極めつつ幅広い知識をも備え、様々な知見と技術を繋いで新しい社会を創出できる技術者を養成します。工学的視点で社会・人間・生命を見つめるための教養と工学に関わる基礎学力を身につけ、種々の技術分野の概要と最新動向に関する知識を得て、各自の志望コース（応用化学、機械システム工学、情報電子オプティクス）を選択します。各々の専門知識を蓄え関連技術を修得しながら、その周辺分野に学修範囲を広げます。さらに「卒業研究」等を通して、柔軟な発想で新技術を創生する力と、それを社会へ適用するデザイン力を身につけます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（工学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拓げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身についていきます。ループリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	1年次には、線形代数・微積分学、物理・化学、データ科学など、工学を学ぶ上で必須の基礎知識を学修します。また、ものづくりを実践する科目、心／身体と工学との結びつきを学ぶ科目、コース入門科目により各専門分野の概要と最新動向に触れ、コース選択の準備をします。 2年次以降、コース専門科目群により各々の高度な専門知識や技能を身につけます。さらに、プロジェクト科目や卒業研究を通じて、問題解決力・デザイン力を養います。また、光工学科目群、分野横断科目群により幅広い専門性を身につけます。	本教育課程に沿って主体的・継続的に学修するためには、高等学校教育課程の特に化学・物理・数学など理数系科目に関する基礎学力を身につけておくことが必要です。また、応用化学・機械システム工学・電気電子工学・情報科学・光工学など、工学の専門分野のいずれかに強い興味と関心を持ち、“将来工学技術者として社会に貢献したい”という熱意を持つことが望まれます。さらに、物事を科学的、論理的に思考し判断しようとする姿勢、その経過や結果を他者に適切に伝えようとする姿勢が、社会で活躍できる技術者・研究者に成長するために必要です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

工学の基盤となる概念や法則の学修に備え、「数学」や「理科」等の基礎知識と、それを基に物事を科学的に捉える習慣を身につけましょう。また、実験などの共同作業、レポート作成、研究発表等の機会が頻繁にあるので、「国語」や「英語」で文章の読解力や記述力を身につけ、コミュニケーション力やプレゼンテーション力を養って下さい。課題解決に主体的に取り組み、得られた成果を次の課題設定に活かすという経験も貴重です。加えて、倫理観を備え、地域や人々の多様性を理解し、社会で広く活躍できる技術者・研究者に育つために、地歴公民に関する一般知識や常識を学習しておきましょう。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な
能力や適性等

- ①高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力を備えている人
 - ②「工学の専門分野*」を学ぶ上で基礎となる高等学校までの科目の学習内容を十分理解している人
 - ③科学的、論理的に思考し、判断や表現ができる人
 - ④「工学の専門分野*」に興味と関心があり、それを活用した工夫やものづくりによって社会に貢献する熱意や行動力をもつ人
 - ⑤主体性をもちつつ、さまざまな人々と協働して学ぶ姿勢や必要なコミュニケーション力をもつ人
- *「工学の専門分野」とは、化学・機械・情報・電気電子・光工学の各専門分野を指します。

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	「化学系」と「機械・情報電子系」の2つの入試区分にわけて募集します。入試区分毎に定めた配点割合にしたがって、主として共通テストと個別学力検査等（数学・理科・英語）の結果を総合し、入学者を選考します。共通テストの結果より、高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力について評価します。個別学力検査等により、「工学の専門分野*」を学ぶための基礎能力を評価します。
一般選抜 (後期日程)	基盤工学科として一括募集します。主として共通テストと個別学力検査等（小論文）の結果を総合し、入学者を選考します。共通テストの結果より、高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力について評価します。個別学力検査等（小論文）により、「工学の専門分野*」への興味・関心の深さと論理的思考能力を評価します。
総合型選抜A (一般)	「化学系」と「機械・情報電子系」にわけて募集し、それぞれにおいて出願書類審査（自己推薦書とプレゼンテーション資料の内容）、プレゼンテーションと質疑応答、および面接の結果を総合して入学者を選考します。プレゼンテーションの内容は、「化学系」では化学あるいは理科全般に関して取り組んだ課題、「機械・情報電子系」では理数系分野に関して取り組んだ課題に関するものとします。またそれに対する質疑応答には、「化学系」では“化学”、“機械・情報電子系”では“数学”や“物理”的基礎知識の確認も含まれます。面接に関しては、入学後の抱負や勉学に対する意欲などのほか、関連する「工学の専門分野*」への興味と関心の強さをそれぞれ評価します。
総合型選抜A (特別) 未来デザイン型入試	GSC事業等のプログラムの修了者 ** を対象として、「化学系」と「機械・情報電子系」にわけて募集し、それぞれにおいて出願書類審査（自己推薦書とプレゼンテーション資料の内容）、プレゼンテーションと質疑応答および面接の結果を総合して入学者を選考します。プレゼンテーションと質疑応答および面接は、総合型選抜（一般）と同様に行いますが、それに加えて、未来を切り開いていこうとする夢と情熱を強く持ち、入学後、他の学生を感化し牽引できるようなリーダーシップを有しているかどうかも評価します。
学校推薦型選抜	一般推薦として「化学系」と「機械・情報電子系」の2つの入試区分にわけて募集します。調査書および基礎能力試験（数学・理科・英語）と面接の結果を総合し、入学者を選考します。調査書及び基礎能力試験の結果より、高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力について評価します。面接により、それぞれの系に関連する「工学の専門分野*」への興味・関心の深さと論理的思考能力を評価します。この他、「機械・情報電子系」では専門高校・総合学科推薦枠でも募集します。選抜方法は一般推薦と同じですが、面接では、高校等における専門分野に関する学習や経験についての試問があります。
私費外国人留学生選抜	基盤工学科として一括募集します。主として日本留学試験、英語外部試験及び学力検査（数学・理科）の結果を総合し、入学者を選考します。英語外部試験及び学力検査により、工学部で学ぶための基礎能力を評価します。面接により、「工学の専門分野*」への興味・関心の深さと論理的思考能力などを評価します。

** GSC事業等のプログラムの修了者とは、科学技術振興機構の支援を受けて大学等で実施する高校生等を対象としたグローバルサイエンスキャンパス事業およびそれらの後継事業、ならびに次世代科学技術チャレンジプログラム事業の第一段階修了者を指します。詳細は学生募集要項を参照ください。

2年次からのコース配属に関するルールは入試区分毎に異なります。詳細は右記リンクを御確認下さい。



(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等
一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆☆	☆	
	個別学力検査	☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆	
	出願書類（調査書）			○		
	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆☆	☆	
総合型選抜A (一般)	小論文			☆☆☆	☆☆	
	出願書類（調査書）			○		
	プレゼンテーション・面接	☆☆		☆☆☆		☆☆☆
	出願書類（調査書）		○			
総合型選抜A (特別)	出願書類（自己推薦書）	☆☆		☆☆☆		☆☆
	プレゼンテーション・面接	☆☆		☆☆☆		☆☆☆★
	出願書類（調査書・GSC事業等の修了証）		○			
	出願書類（自己推薦書）	☆☆		☆☆☆		☆☆
学校推薦型選抜	基礎能力試験	☆☆☆	☆	☆		
	面接			☆☆	☆☆☆	☆☆☆
	出願書類（推薦書）			○		
	出願書類（調査書）	☆☆		☆		☆☆
私費外国人留学生選抜	英語外部試験		☆☆☆			
	日本留学試験	☆☆☆	☆	☆☆	☆☆☆	☆☆☆
	学力検査		☆☆☆	☆☆		☆
	面接			☆☆	☆☆☆	☆☆☆
出願書類（成績証明書等）				○		

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

(iii) ★は、☆に加えて点数・評価に加算のあることを示す。

農学部 フロンティア食品科学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

生物資源のさまざまな可能性、特に嗜好と健康に与える影響について明らかにし、加工による食品の機能強化や生物資源の持続的活用などの科学技術の発展のために、基本的かつ応用的な教育研究を行います。食品や食材などの新しい未来を開拓することで、持続可能で健全な食の推進など農学のポストハーベスト分野で社会に貢献することのできる行動的知性を備えた人材（技術者）を育成します。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拓げるため、(1) 大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2) 英語や健康、データサイエンス、SDGs など、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3) 自ら問い合わせを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ループリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。持続可能で健全な食社会を推進する人材を育成するため、以下の専門科目群を開設します。 『食品の材料の科学』科目群：生物資源や食品などの可能性を解明する知識を修得する。 『食品の加工・機能性の科学』科目群：食品の加工による機能強化、生物資源の持続的活用に関する知識を修得する。 『実験・実習・演習』科目群：食品の嗜好、健康への影響の評価に必要な科学的技能を修得する。 『健全な食の科学』科目群：広い視点で、農学関連分野における価値創出力と課題解決力を培う。	食品の加工による機能強化や生物資源の持続的活用など、科学技術発展に貢献する意欲を持っていることが望まれます。食品や食材などの新しい未来の開拓や持続可能で健全な食の推進について幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせて筋道をたてて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な
能力や適性等

- ①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人
- ②フロンティア食品科学の基礎となる理科（化学あるいは生物）および英語などについての基礎的な知識と学力を備えている人
- ③様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人
- ④フロンティア食品科学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人
- ⑤常に問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
- ⑥農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では理科（化学あるいは生物）および英語についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
総合型選抜A (一般)	出願書類、面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション（以下、GDと略す）、GDのレポートを総合して選抜を行います。本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、主体性、コミュニケーション能力、思考力、表現力を、論述試験では思考力、表現力、フロンティア食品科学で必要とされる基礎学力を、GDでは主体性、判断力、協働力、コミュニケーション能力を、レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基本知識を中心に評価します。
総合型選抜A (特別) 未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーションおよび質疑応答を含む面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション（以下、GDと略す）、GDのレポートを総合して選抜を行います。上記の総合型選抜A（一般）の内容に加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション（5分）および質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力および主体性について評価します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、高等学校で修得すべき基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験および面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、高等学校で修得すべき基礎知識、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類（成績証明書等）を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
	個別学力検査	☆☆☆		☆☆	☆		
	出願書類（調査書）			○			
	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
	面接			☆☆		☆☆☆	
	出願書類（調査書）			○			
総合型選抜	論述試験	☆☆		☆☆			
	面接			☆☆		☆☆	
	GD・レポート	☆		☆☆		☆	
	出願書類（調査書）			○			
	出願書類（自己推薦書）			○			
	論述試験	☆☆		☆☆			
A(特別)	面接			☆☆		☆☆	
	GD・レポート	☆		☆☆		☆	
	プレゼンテーション・質疑応答	☆☆		☆☆☆		☆☆	
	出願書類（調査書）			○			
	出願書類（自己推薦書）			○			
	面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
学校推薦型選抜	小論文	☆☆	☆	☆☆☆			
	出願書類（推薦書）			○			
	出願書類（調査書）			○			
	英語外部試験	☆☆☆					
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
	面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
	出願書類（成績証明書等）			○			

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 生物生産イノベーション科学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

動物・植物・昆虫・微生物・土壌を対象に生物生産の過程や仕組み、生命科学などについて理解を深めるとともに、そこで得た知識を実社会で活用することができるよう、アクティブラーニングを導入した教育プログラムを編成しており、農学関連分野においてイノベーションを創出できる行動的知性を備えた人材（技術者）を養成します。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拓げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ループリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。生物生産科学の専門性とイノベーションの基礎を修得した人材の育成のため、以下の専門科目群を開設します。 生物生産基礎科目群：生命科学や生物生産を学ぶために必要な自然科学の基礎を修得する。 生物生産応用科目群：生物を解析し、活用するための基礎的な技能や実践的能力を養う。 生物生産基幹科目群：生物生産の観点から生物や農業を取り巻く環境を理解する。 生物生産イノベーション科目群：農学関連産業に直結した実践的な知見と先進的な技術を身につける。	自然科学の基礎理論と、生物生産に関わる基礎知識を理解し、農学における技術革新に貢献する意欲を持っていることが望されます。農学関連産業の意義と重要性について幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせて筋道をたてて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な
能力や適性等

- ①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人
- ②生物生産イノベーション科学の基礎となる理科（生物あるいは化学）および英語などについての基礎的な知識と学力を備えている人
- ③様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人
- ④生物生産イノベーション科学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人
- ⑤生物生産イノベーション科学関連分野への関心と問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
- ⑥農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出席書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では理科（生物または化学）および英語についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出席書類（調査書）を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出席書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出席書類（調査書）を使用します。
総合型選抜A (一般)	出席書類、プレゼンテーションおよび質疑応答、面接を総合して選抜を行います。プレゼンテーションおよび質疑応答では、高等学校などにおける理科全般あるいは生物に関する探究活動について発表し、質問に答えるとともに、他者の発表についても質問してもらい、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力および主体性について評価します。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、思考力、表現力などを評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出席書類（調査書等）を使用します。
総合型選抜A (特別) 未来デザイン型入試	出席書類、プレゼンテーションおよび質疑応答、面接を総合して選抜を行います。プレゼンテーションおよび質疑応答では、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動について発表し、質問に答えるとともに、他者の発表についても質問してもらい、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力および主体性について評価します。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、思考力、表現力などを評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出席書類（調査書等）を使用します。
学校推薦型選抜	出席書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、高等学校で修得すべき基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出席書類（調査書）を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験および面接の結果、並びに出席書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、高等学校で修得すべき基礎学力、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出席書類（成績証明書等）を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
	個別学力検査	☆☆☆		☆☆	☆		
	出席書類（調査書）			○			
	大学入学共通テスト 面接	☆☆☆	☆☆			☆☆☆	
総合型選抜 (一般)	出席書類（調査書）			○			
	プレゼンテーション・質疑応答 面接	☆☆		☆☆☆		☆	
	出席書類（調査書）	☆		☆☆☆		☆☆	
	出席書類（自己推薦書）			○			
総合型選抜 (特別)	プレゼンテーション・質疑応答 面接	☆☆		☆☆☆		☆	
	出席書類（自己推薦書）	☆		☆☆☆		☆☆	
	出席書類（調査書）			○			
	出席書類（自己推薦書）			○			
学校推薦型選抜	面接	☆☆		☆☆		☆☆	
	小論文	☆☆	☆	☆☆☆			
	出席書類（推薦書）			○			
	出席書類（調査書）			○			
私費外国人留学生選抜	英語外部試験	☆☆☆					
	日本留学試験		☆☆☆	☆☆			
	面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
	出席書類（成績証明書等）			○			

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 環境システム科学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

持続的かつ合理的な流域圏の基盤をデザインするための知識や技術を身につけ、農学分野の課題解決や発展に貢献することのできる行動的知性を備えた人材（技術者）を養成します。2年生後期から、①農業環境工学プログラム、②森林科学プログラムのいずれかに分属し、学科共通の専門領域の学修に加え、それぞれの専門領域について学修します。この2プログラムではそれぞれ、①田園空間の総合的デザインや食料生産環境システムの設計・制御に関わる専門技術者、②森林の木材生産と環境保全に関わる専門技術者の育成が図られます。なお、両プログラムはJABEE（日本技術者教育認定機構）による技術者教育プログラムとしての認定を受けており（予定）、卒業と一緒に修習技術者となり、技術士補の国家資格を得ることができます。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拓げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問い合わせ立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ループリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。持続的な流域圏の基盤のデザインを担う技術者を育成するために、以下の専門科目群を設置します。 基礎科目群：環境システム科学に関する基礎理論を修得する。 環境基盤系科目群：流域圏の基盤のデザインに関わる基礎知識を修得する。 環境計測系科目群：空間デザインのための技術を修得する。 融合・応用科目群：社会的要求の変化に応じた合理的かつ柔軟な対応を学ぶ。 農業環境工学技術系・森林科学技術系科目群：専攻分野の技術者として社会に貢献するための専門知識・技術を修得する。	自然科学の基礎理論と持続的かつ合理的な流域圏のデザインを理解し、環境問題の解決やデジタル技術の活用に貢献する意欲を持っていることが望されます。持続可能な流域圏の生産基盤をデザインについて幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

本学科では豊かな流域環境の創出・管理・評価、スマート農林業などを活用した持続的な食料・木材生産、気候変動へのしなやかな対応などに関する学識を身につけ、社会の幅広い分野で活躍できる技術者を育成することを目指しています。高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせて筋道をたてて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションを取り、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な
能力や適性等

- ①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人
- ②環境システム科学の基礎となる理科(生物)あるいは数学および英語などについての基礎的な知識と学力を備えている人
- ③様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人
- ④環境システム科学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人
- ⑤環境システム科学関連分野への関心と問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
- ⑥農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では理科(生物)または数学、および英語についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
総合型選抜A (一般)	出願書類、面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション(以下、GDと略す)、GDのレポートを総合して選抜を行います。本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、コミュニケーション能力、思考力、表現力を、論述試験では思考力、表現力、環境システム科学で必要とされる基礎学力を、GDでは主体性、判断力、協働力、コミュニケーション能力を、レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基本知識を中心に評価します。
総合型選抜A (特別) 未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーションおよび質疑応答を含む面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション(以下、GDと略す)、GDのレポートを総合して選抜を行います。上記の総合型選抜A(一般)の内容に加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション(5分)および質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力および主体性について評価します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、高等学校で修得すべき基礎知識、思考力、表現力を評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験および面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類(成績証明書等)を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
	個別学力検査	☆☆☆		☆☆	☆		
	出願書類(調査書)			○			
	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆			
	面接			☆☆		☆☆☆	
	出願書類(調査書)			○			
総合型選抜	論述試験	☆☆		☆☆			
	面接			☆☆		☆☆	
	GD・レポート	☆		☆☆		☆	
	出願書類(調査書)			○			
	出願書類(自己推薦書)			○			
	論述試験	☆☆		☆☆			
A(特別)	面接			☆☆		☆☆	
	GD・レポート	☆		☆☆		☆	
	プレゼンテーション・質疑応答	☆☆		☆☆☆		☆☆	
	出願書類(調査書)			○			
	出願書類(自己推薦書)			○			
	面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
学校推薦型選抜	小論文	☆☆	☆	☆☆☆			
	出願書類(推薦書)			○			
	出願書類(調査書)			○			
	面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
私費外国人留学生選抜	英語外部試験	☆☆☆					
	日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
	面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
	出願書類(成績証明書等)			○			

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 エコロジカル社会経済学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

食料やその生産基盤となる農林業に関する問題について、経済学や社会学など社会科学の領域から研究・教育を行います。農業生産や環境負荷、消費者ニーズ、循環社会、政策など幅広い専門知識や理論を理解し、誰一人取り残されることなく、十分な食料を確保し続けられる持続可能なエコロジカル社会に貢献することのできる行動的知性を備えた人材を育成します。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拓げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問い合わせ立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ループリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。食、農林業、環境および経済を分析し、持続可能な社会の構築を担う人材を育成するために、以下の専門教育科目群を設置します。 基礎科目群：社会科学の基礎を修得する。 応用科目群：農学の対象を分析する力を修得する。 演習系科目群：課題発見や解決に資する論理的思考力・判断力や情報収集・分析力を磨く。社会・地域で適切な解決策を見出し、実践できる行動力を身につける。	食料やその生産基盤となる農林業に関する諸問題の解決に貢献する意欲を持っています。環境と社会と経済の持続可能性について幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせて筋道をたてて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

- 入学時に必要な能力や適性等
- ①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人
 - ②様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人
 - ③エコロジカル社会経済学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人
 - ④常に問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
 - ⑤農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人
 - ⑥エコロジカル社会経済学関連分野への関心を持ち、本分野の発展に貢献する意欲を持っている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「文系型」あるいは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では小論文あるいは数学、および英語により基礎的な知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「文系型」あるいは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
総合型選抜A (一般)	出願書類、面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション(以下、GDと略す)、GDのレポートを総合して選抜を行います。本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、コミュニケーション能力、思考力、表現力を、論述試験では思考力、表現力、エコロジカル社会経済学で必要とされる基礎学力を、GDでは主体性、判断力、協働力、コミュニケーション能力を、レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基礎的な知識を中心に評価します。
総合型選抜A (特別) 未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーションおよび質疑応答を含む面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション(以下、GDと略す)、GDのレポートを総合して選抜を行います。上記の総合型選抜A(一般)の内容に加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション(5分)および質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力および主体性について評価します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、高等学校で修得すべき基礎的な知識、思考力、表現力を評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験、小論文および面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、高等学校で修得すべき基礎学力、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類(成績証明書等)を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等			
一般選抜	大学入学共通テスト 個別学力検査	☆☆☆	☆☆				
	出願書類(調査書)	☆☆☆	☆☆	○			
	大学入学共通テスト 面接	☆☆☆	☆☆		☆☆☆		
	出願書類(調査書)		☆☆	○			
総合型選抜	論述試験 面接	☆☆	☆☆				
	G D レポート	☆	☆☆		☆		
	出願書類(調査書)		○				
	出願書類(自己推薦書)		○				
	論述試験 面接	☆☆	☆☆				
	G D レポート	☆	☆☆		☆		
学校推薦型選抜	プレゼンテーション・質疑応答	☆☆	☆☆☆		☆☆		
	出願書類(調査書)		○				
	出願書類(自己推薦書)		○				
	面接	☆☆	☆☆		☆☆		
	小論文	☆☆	☆☆☆				
	出願書類(推薦書)		○				
私費外国人留学生選抜	出願書類(調査書)		○				
	英語外部試験	☆☆☆					
	日本留学試験	☆☆☆	☆☆				
	小論文	☆☆	☆☆☆				
	面接	☆☆	☆☆		☆☆☆		
出願書類(成績証明書等)			○				

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

3 募集人員

学 部	学 科	募 集 人 員
地 域 デザイン 科 学 部	コ ミ ュ ニ テ ィ デ ザ イ ン 学 科	各 学 科 若 干 名
	建 築 都 市 デ ザ イ ン 学 科	
	社 会 基 盤 デ ザ イ ン 学 科	
国 际 学 部	国 际 学 科	5 名
工 学 部	基 盤 工 学 科	若 干 名
農 学 部	フ ロ ン テ ィ ア 食 品 科 学 科	各 学 科 若 干 名
	生 物 生 产 イ ノ ベ ー シ ョ ン 科 学 科	
	环 境 シ ス テ ム 科 学 科	
	エ コ ロ ジ カ ル 社 会 経 济 学 科	

4 出願資格

次の I に掲げる要件の全てを満たし、 II に掲げる要件のいずれかを満たす者とします。

I	(1) 日本の国籍を有せず、出入国管理及び難民認定法により、大学入学に支障のない在留資格を有する者 (2) 独立行政法人日本学生支援機構が2024年(令和6年)第1回試験(6月)以降に実施する「日本留学試験」のうち、本学が指定している試験科目を受験している者(下記の表を参照のこと) (3) 出願する学部・学科・分野によってはTOEFL iBTを受験することを必要とします。(該当する学部・学科・分野は下記の表を参照のこと) 国際学部へ出願する者は、TOEFL iBT, TOEIC, IELTS, GTEC, TEAP(4技能), TEAP CBTのいずれかを受験することを必要とします。詳細は22, 23ページを参照のこと。
II	(1) 外国において学校教育における12年の課程を修了及び令和8年3月31日までに修了見込みの者並びにこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者(ただし、文部科学省告示「外国において学校教育における12年の課程を修了した者に準ずる者を指定する件」の第4号、第5号を除く) (2) スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局が授与する「国際バカロレア資格」を有する者 (3) ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められている「アビトゥア資格」を有する者 (4) フランス共和国において、大学入学資格として認められている「バカロレア資格」を有する者 (5) グレート・ブリテン及び北アイルランド連合王国において大学入学資格として認められている「ジエネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格」又は「インターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格」を有する者 (6) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められている「欧州バカロレア資格」を有する者

(表) TOEFL, TOEIC, IELTS, GTEC, TEAP, TEAP CBT

及び日本留学試験の指定一覧

○は指定する試験科目

学 部	学 科	TOEFL iBT	TOEIC	IELTS	GTEC	TEAP TEAP CBT	日本 留 学 試 験						出 題 言 語	
							日本語	総 合 科 目	数 学	理 科				
										物 理	化 学	生 物		
地 域 デザイン 科 学 部	コ ミ ュ ニ テ ィ デ ザ イ ン 学 科	○					○	○	自由選択				日本語	
	建 築 都 市 デ ザ イ ン 学 科	○					○		コース 2	○			他 1 科目自由選択	
	社 会 基 盤 デ ザ イ ン 学 科	○					○		コース 2	○			他 1 科目自由選択	
国 际 学 部	国 际 学 科	○(いずれか1点)				○	○	コース 1					自由選択	
工 学 部	基 盤 工 学 科	○					○		コース 2				2 科目自由選択	
農 学 部	フ ロ ン テ ィ ア 食 品 科 学 科	○					○		自由選択				2 科目自由選択	
	生 物 生 产 イ ノ ベ ー シ ョ ン 科 学 科	○					○		自由選択				2 科目自由選択	
	环 境 シ ス テ ム 科 学 科	○					○		自由選択				2 科目自由選択	
	エ コ ロ ジ カ ル 社 会 経 济 学 科	○					○	○	自由選択				日本語	

5 出願上の留意事項

- ①出願時すでに日本国内に居住し、大学入学に支障のない在留資格を有している必要がありますので注意してください。
- ②日本留学試験において、本学が指定する試験科目、コース、出題言語を受験していない場合は、出願資格がなく受験を認められないので、十分確認の上、出願してください。

6 出願手続

(1) 出願期間

令和8年1月5日(月)から7日(水)まで [ただし、7日は17時までに必着とします。]

(注) 出願期間後に到着したものは、受理しないので注意してください。

(2) 出願方法

日本国内からの郵送に限ります。

下記(3)に示す書類等を取りまとめ、本要項に添付されている私費外国人留学生選抜出願のための書類送付用の封筒を使用して、その封筒裏面で書類に漏れがないことを出願者チェック欄にチェックを入れて確認し、必ず「書留・速達」で送付してください。

(留意事項)

郵送に際しては、郵便事情及び書類不備の場合も考慮し、十分余裕をもって発送してください。
なお、期間内に到着しないおそれがある場合は持参してください。

(3) 出願書類等及び記入要領等

出願書類等の記入は、黒のボールペンを用いて楷書で記入してください。

(出願書類の※印の欄は記入しないでください。)

出願書類等	記入要領等		
入 学 志 願 票	① 氏 名 等	氏名、フリガナ、生年月日を記入し、性別は該当するものを○で囲むこと。	
	アルファベット	「日本留学試験受験票」に記載されているものと同じアルファベットを記入すること。	
	② 国 種 種	国籍を記入すること。	
	③ 出 願 学 部	出願する学科名を記入すること。	
	国際学部	出願する学科名を○で囲むこと。	
	工 学 部	出願する学科名を○で囲むこと。	
	理 科 の 選 択 科 目	「物理」又は「化学」のいずれかを選び、○で囲むこと。	
	農 学 部	出願する学科名を記入すること。	
	④ 最 終 学 歴	学校名	国立・公立・私立のいずれかを○で囲み、学校の名称を記入すること。
	*出願資格Ⅱの(1)に該当する者は、「学校教育における12年の課程」での最終学歴を指す。	所 在 地	学校の所在地を記入すること。
		修了年月	修了又は修了見込みの年月を記入すること。また、修了又は修了見込みのいずれかを○で囲むこと。
		課 程 ・ 科	該当するものを○で囲むこと。該当するものが無い場合は、() 内に記入すること。

出願書類等	記入要領等
入学志願票	⑤ 資格試験 出願資格Ⅱの(2)~(6)を有している者は、その資格取得年月及び資格試験の名称を記入すること。
	⑥ 住 所 日本国内で受験者本人が常時居住している住所を詳細に記入すること。郵便が間違なく届くように、アパート名、マンション名、棟、部屋番号、○○様方などを省略せずに記入すること。
	⑦ 学 歴 初等教育（小学校）から最終学歴まで年代順に詳しく記入すること。
	⑧ 日本語の学習歴 教育機関で学習した学歴がある場合に記入すること。
	⑨ そ の 他 履歴に関し、上記にあてはまらない事項がある場合に記入すること。
写 真 票	所定の欄に氏名、フリガナ、出願学部、出願学科等を記入すること。また、所定の欄に出願前3か月以内に撮影した脱帽正面半身のカラー写真（縦4cm×横3cm）を貼付すること。 以下の【使用できない写真の例】に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合には、出願を受け付けられないことがあるので注意すること。 【使用できない写真の例】 不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。
受 験 票	同 上。
修了証明書及 び成績証明書等 右の記入要領等欄 1及び2については、 24ページ(注)1 参照	1 出願資格Ⅱの(1)に該当する者のうち、学校教育における12年の課程を修了又は修了見込みの者は、次の書類を提出すること。 学校教育における12年の課程の修了証明書又は修了見込み証明書及び成績証明書 [大学を修了又は修了見込みの者であっても、12年の課程（日本での高校に相当する課程）の証明書を提出すること] 2 出願資格Ⅱの(1)に該当する者のうち、「これらに準ずる者」に該当する者は、次の書類のいずれかを提出すること。 ① 学校教育における中等教育の課程の修了証明書と成績証明書 ② 文部科学大臣の指定した教育施設の修了証明書と成績証明書 3 出願資格Ⅱの(2)に該当する者は、次の書類を提出すること。 国際バカロレア資格証書の写し及びIB最終試験の成績評価証明書 4 出願資格Ⅱの(3)に該当する者は、次の書類を提出すること。 アビトゥア資格証書の写し及び一般的大学入学資格証明書の写し 5 出願資格Ⅱの(4)に該当する者は、次の書類を提出すること。 バカロレア資格証書の写し及びバカロレア資格試験成績証明書 6 出願資格Ⅱの(5)に該当する者は、次の書類を提出すること。 当該資格の成績評価証明書の写し 7 出願資格Ⅱの(6)に該当する者は、次の書類を提出すること。 欧州バカロレア資格証書の写し及び欧州バカロレア最終試験成績証明書の写し
日本留学試験 「成績通知書」等	日本留学試験の「成績通知書」写しましたは「成績確認書」を提出すること。
在留資格を有することを証明できる書類	次のいずれか1つを提出すること。 ①在留カードの写し（表裏両面） ②住民票の写し ※在留資格及び在留期間の記載があり、マイナンバーの記載がないもの
TOEFL (['iBT', 'iBT Home Edition']) ['Test Taker Score Report']	[地域デザイン科学部] 各学科, [工学部] 基盤工学科及び [農学部] 各学科へ出願する者は、次の書類を申請すること。 TOEFL ([iBT], [iBT Home Edition]) 「Test Taker Score Report」： 検定試験運営機関である米国ETSのETSアカウント (My TOEFL Home) からダウンロードし、印刷した「Test Taker Score Report」のみ出願書類として有効とする。ただし Test Date スコアのみ有効とし、My Best™ スコアは受け付けない。 入試の実施日から過去2年以内に実施されたTOEFLの「Test Taker Score Report」を本学あて出願書類に同封すること。 また、ETSアカウント (My TOEFL Home) にてDIコード7976を選択し、本学へのスコアの送付(オンライン)を手配すること。出願期間最終日までにETSのサービス「ETS Date Manager」にて本学がスコアを確認できない場合は、出願を受け付けない。

出願書類等	記入要領等
① TOEIC (公開テスト) 「Official Score Certificate」* 又は「Digital Official Score Certificate」 ② TOEFL ([iBT], [iBT Home Edition]) 「Test Taker Score Report」 ③ IELTS ('アカデミック・ モジュール', 又は 「ジェネラル・ トレーニング・ モジュール」) 「追加成績証明書」 ④ GTEC (CBT タイプ又は検定版 (Advancedタイプ)) 「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」 ⑤ TEAP (4技能) 又は TEAP CBT 「成績表」 のいずれか 1 点 24ページ(注) 4 参照	<p>[国際学部] 国際学科へ出願する者は、次の①～⑤のいずれか 1 つを提出若しくは申請すること。</p> <p>① TOEIC (公開テスト) 「Official Score Certificate」又は「Digital Official Score Certificate」： 入試の実施日から過去 3 年以内に実施された TOEIC の「Official Score Certificate (公式認定証)」原本、又は「Digital Official Score Certificate (デジタル公式認定証)」PDF を印刷したものを出願書類として提出すること。原本は受験票送付時に返却するが、その際に書類を折りたたむことがある。</p> <p>② TOEFL ([iBT], [iBT Home Edition]) 「Test Taker Score Report」： 検定試験運営機関である米国 ETS の ETS アカウント (My TOEFL Home) からダウンロードし、印刷した「Test Taker Score Report」のみ出願書類として有効とする。ただし Test Date スコアのみ有効とし、My Best™ スコアは受け付けない。 入試の実施日から過去 2 年以内に実施された TOEFL の「Test Taker Score Report」を本学あて出願書類に同封すること。 また、ETS アカウント (My TOEFL Home) にて DI コード 7976 を選択し、本学へのスコアの送付（オンライン）を手配すること。出願期間最終日までに ETS のサービス「ETS Date Manager」にて本学がスコアを確認できない場合は、出願を受け付けない。</p> <p>③ IELTS ('アカデミック・モジュール'、又は「ジェネラル・トレーニング・モジュール」) 「追加成績証明書」： 検定試験運営機関である日本英語検定協会（日本以外で受験した場合は当該地域の事務局）から本学あて直接送付される「追加成績証明書」のみ出願書類として有効とする。 入試の実施日から過去 2 年以内に実施された IELTS の「追加成績証明書」が出願期間最終日までに本学へ届くよう、受験者本人から試験運営機関に申請すること。海外で受験した場合は、本学到着までに時間を要するので、特に早めに申請すること。 なお、出願時確認用として受験者用控え「Test Report Form」写しを本学あて出願書類に同封すること。 受験者から「Test Report Form」の原本が直接提出されても出願書類として受け付けない。 出願期間最終日までに試験運営機関からの「追加成績証明書」が本学に未着の場合は出願を受け付けない。 また、いずれの書類も受験者あてに返却しない。</p> <p>④ GTEC (CBT タイプ又は検定版 (Advanced タイプ)) 「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」： 入試の実施日から過去 2 年以内に実施された GTEC (CBT タイプ又は検定版 (Advanced タイプ)) の「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」写しを出願書類として提出すること。</p> <p>⑤ TEAP (4 技能) 又は TEAP CBT 「成績表」： 入試の実施日から過去 2 年以内に実施された TEAP (4 技能) 又は TEAP CBT の「成績表」写しを出願書類として提出すること。</p>
入学検定料	<p>17,000円</p> <p>必ず本学所定の銀行振込用紙を用い、振込依頼人の名義欄は、受験者本人の名前を記入し、日本国内の金融機関から本学の取引銀行（足利銀行・栃木銀行・みずほ銀行）のいずれかの口座に振り込むこと。ただし、ATMでの振込は行わないこと。 なお、その際振込銀行から発行される「振込受付証明書」を受け取り、「振込受付証明書貼付台紙」の所定の欄に貼付すること。 また、地震、風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は、24ページ(4)「入学検定料免除について」を参照し、入学検定料免除申請書（別添書類）を提出すること。その場合は、入学検定料は納付せずに、氏名とフリガナのみ記入し、「免除申請」を○で囲んだ「振込受付証明書貼付台紙」を提出すること。</p>
受験票送付用封筒	本要項に綴じ込まれている封筒を用い日本国内の受験者本人の郵便番号、住所、氏名を明記し、410円分の切手（速達）を貼付すること。
合格通知書等送付用 住 所 ラ ベ ル	合格通知書の送付先は日本国内のみとする。受験者本人の氏名、日本国内で居住している住所と郵便番号を記入すること。アパート名、マンション名、棟、○○様方などを省略せずに記入すること。

- (注) 1 提出する証明書・文書等は原本又は「公証書」とし、写しは不可とします。また、日本語以外の言語で記載されている証明書・文書等には、訳文の提出を求める場合があります。
- 2 TOEFL では本学がETSのサービス「ETS Date Manager」にて確認したスコアと「Test Taker Score Report」、IELTS では試験運営機関から本学に送付された「追加成績証明書」と受験者用控え「Test Report Form」写しで、内容が相違する場合には、出願を受け付けません。
- 3 入学検定料については、出願書類を受理した後にはいかなる理由があっても返還しません。
- 4 受理した書類等は、*印の書類（原本）を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- 5 受理した書類等の記載内容は変更できません。なお、氏名、現住所、連絡先及び電話番号に変更が生じた場合は、速やかに学務部入試課へ連絡してください。
- 6 提出した書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。

(4) 入学検定料免除について

本学では、災害等で被災された方の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、入学検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

① 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、入学試験を行う当該年度において日本国内で発生した、災害救助法（昭和22年法律第118号）が適用された地域における地震、風水害等の災害（以下「災害」という。）により、次に該当する者です。

ア 主たる家計支持者（父母又はこれに代わって家計を支える者のうち、所得金額の最も多い者。以下「家計支持者」という。）が、災害救助法の適用地域において被災し、居住している又は居住していた家屋について、市区町村から次のいずれかに係る証明書を交付される者

- ⑦ 全壊
- ① 大規模半壊
- ② 半壊

イ 家計支持者が、災害により死亡又は行方不明となった者

② 免除申請の手続

入学検定料の免除を受けようとする者は、出願時に、入学検定料免除申請書（別添書類）に、次のいずれかの証明書（写し可）を添えて、申請してください。

ア ①アに該当する者

罹災証明書、被災証明書等

イ ①イに該当する者

⑦ 家計支持者が死亡した場合

家計支持者の死亡が確認できる書類

① 家計支持者が行方不明となった場合

家計支持者の行方不明の事実が確認できる書類又は行方不明となったことに係る申立て（入学検定料免除申請書に記載してください。）

なお、提出書類について不明な点がある場合は、あらかじめ学務部入試課まで問い合わせてください。

また、免除申請の要件を満たしていなかった場合は、入学検定料の納付について学務部入試課から電話にて連絡します。

(5) 出願先

〒321-8505 宇都宮市峰町350
宇都宮大学学務部入試課

(6) 受験票の送付

受験票は、出願期間終了後、出願者全員に送付しますので、令和8年1月15日(木)までに受験票が到着しない場合は、学務部入試課へ申し出てください。

7 疾病・負傷や身体障がい等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談

疾病・負傷や身体障がい等のために、受験上及び修学上で配慮を必要とする場合は、下記期限までのできるだけ早い時期に学務部入試課との相談を開始してください。

また、事前相談の期間後であっても、受験上及び修学上で配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

(1) 事前相談の期限

令和7年11月19日(水)

(2) 事前相談申請書の提出

事前相談申請書（様式はホームページに掲載 <https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/entrance-exam-info/faculty-entrance-exam/>）に次の内容を記載し、医師の診断書（入学試験において必要な配慮が、具体的に記載されたもの。写しでも可とします。）を添えて学務部入試課へ提出してください。

- ① 氏名、住所、連絡先電話番号、連絡可能な時間帯
- ② 志願予定の選抜の種類（私費外国人留学生選抜）、学部・学科等
- ③ 疾病・負傷や身体障がい等の内容・程度
- ④ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑤ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑥ 出身学校等で受けている配慮の内容
- ⑦ 日常生活の状況

8 選抜の方法及び試験科目・日程等

(1) 選抜の方法

入学者の選抜は、出願書類の他、日本留学試験の成績、英語外部試験のスコア（英語を課す学科等のみ）、本学の学力試験等の結果を総合して決定します。

(2) 試験科目等

学部	学 科	試 験 内 容	
地域デザイン科学部	コミュニティデザイン学科	小論文	論述形式（日本語）によって、総合的な理解力、思考力、表現力を問う。
		面 接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～15分程度実施する。コミュニティデザインに関する意欲、問題意識、視野の広さ、将来設計を問う。
	建築都市デザイン学科	面 接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。建築・都市デザインに対する関心度や意欲、希望進路、論理的思考力等を問う。
		数学*	日本の高等学校の科目「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C」
	社会基盤デザイン学科	面 接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。地域における社会基盤デザインに関する意欲、問題意識、視野の広さ、進路希望を問う。
		小論文	問題の指示に従って日本語で800字程度の小論文を書く。 〈評価の観点〉 問題点を把握する能力、自分の知識を生かして独自の考えをまとめる能力、論理的に考え、文章を構成する能力、日本語の表現・表記の能力を評価する。
国際学部	国際学科	面 接	複数の面接員により、10分程度の個人面接を日本語で行う。 志望の動機、関心のある領域・問題、将来の計画などを尋ねる。 〈評価の観点〉 国際的な社会・文化事象に対する関心の度合い、知識を生かして問題を掘り下げて考える能力、自分の考えを説得的に表現する能力を評価する。
工学部	基盤工学科	数学*	日本の高等学校の科目「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C」
		理 科	選択科目「物理」又は「化学」のいずれか1科目を選択する。出題範囲は、日本の高等学校の科目「物理基礎・物理」及び「化学基礎・化学」
		面 接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10分程度で実施する。本学科で学ぶために必要な日本語能力、学修意欲、適性などをみる。
農学部	フロンティア食品学科	面 接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、高等学校で修得すべき基礎学力、表現力、主体性及び学修意欲を評価する。
	生物生産イノベーション学科	面 接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、高等学校で修得すべき基礎学力、表現力、主体性及び学修意欲を評価する。
	環境システム学科	面 接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、高等学校で修得すべき基礎学力、表現力、主体性及び学修意欲を評価する。
	エコロジカル社会経済学科	小論文	社会科学に関する基礎的な思考力及び表現力を評価する（日本語で解答）。
		面 接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施する。諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、高等学校で修得すべき基礎学力、表現力、主体性及び学修意欲を評価する。

*「数Ⅰ」はデータの分析を除きます。「数A」の出題範囲は、図形の性質、場合の数と確率とします。「数B」の出題範囲は、数列とします。「数C」の出題範囲は、ベクトル、平面上の曲線と複素数平面とします。

(3) 試験日及び試験場等

学 部	試 験 日	集 合 時 刻	試 験 場	集 合 場 所
国際学部	令和8年 1月27日(火)	8時30分	宇都宮大学 峰キャンパス試験場 (宇都宮市峰町350)	峰キャンパス4号館B棟玄関ホール
農 学 部		8時30分	宇都宮大学 峰キャンパス試験場 (宇都宮市峰町350)	峰キャンパス1号館A棟玄関ホール

学 部	学 科	試 験 日	集 合 時 刻	試 験 場	集 合 場 所
地 域 デ ザ イン 科 学 部	コミュニティデザイン学科	令和8年 2月25日(水)	8時30分	(注)宇都宮大学 峰キャンパス 試験場 (宇都宮市峰町350)	(注)峰キャンパス 4号館B棟 玄関ホール
	建築都市デザイン学科		8時30分		
	社会基盤デザイン学科		11時30分		
工 学 部	基 盤 工 学 科		8時30分		

(注) 試験場及び集合場所を変更する場合は、受験票送付時にお知らせします。

(4) 試験スケジュール

① 令和8年1月27日(火)

学 部		学 科・分 野 等		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
農 學 部	国際学部	国際学科	小論文								
	フロンティア食品科学科										
	生物生産イノベーション科学科										
	環境システム科学科										
工 学 部	工コロジカル社会経済学科	小論文									
				9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00

② 令和8年2月25日(水)

9 受験上の注意事項

(1) 試験当日の注意事項

- ① 試験当日は、「本学の受験票」を必ず持参してください。
- ② 試験当日は、指定された集合場所に、集合時刻までに集合してください。これに遅れる場合は、試験開始後30分までは受験を許可します。ただし、試験時間の延長は認めません。
- ③ 受験の際に机の上に置くことのできるものは、受験票、鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのものに限ります）、眼鏡、ハンカチ及びティッシュペーパー、目薬、鉛筆キャップだけです。
- ④ 下敷き、座布団については、監督者の許可を得たものに限り使用することができます。
- ⑤ 携帯電話・スマートフォン等は必ず電源を切り、監督者の指示に従ってください。
- ⑥ 天候等の影響で、交通機関が平常どおりに運行していない可能性があります。試験場には、時間に余裕をもって来るようにしてください。
- ⑦ 試験当日は、自動車及びバイクによる試験場内への乗り入れを禁止します。

(2) 不正行為

- ① 次のことになると不正行為となります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した選抜区分の全ての成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

ア 志願票、受験票へ故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真を貼るなど）をすること、解答用紙へ故意に虚偽の記入（解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど）をすること
イ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること
ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること
エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと
オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと
カ 監督者が試験開始を指示する前に、問題冊子を開いたり解答を始めること
キ 試験時間中に、使用が認められていない定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること
ク 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること
※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（病気・負傷や身体障がい等により、試験時間中に補聴器等を使用したい場合は、受験上及び修学上の配慮に関する事前相談が必要です。）
ケ 監督者が試験終了を指示した後に、その指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること
コ その他、試験時の説明で禁止された行為をすること

- ② 上記①以外にも、次のことになると不正行為となることがあります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。指示等に従わず、不正行為と認

定された場合の取扱いは、①と同様です。

- ア 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること
 - イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）をならすなど、試験の進行に影響を与えること
 - ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること
 - エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること
 - オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと
 - カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること
- ※その他、試験時間中に使用できないものや身に付けることができないもの等が発見された場合も不正行為に該当する場合があります。

10 入試過去問題の使用について

本学の「アドミッション・ポリシー」に基づき、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」への参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。（必ず使用するとは限りません）

- (1) 入試過去問題を使用して出題する場合は、一部を改変することもあります。
- (2) 入試過去問題を使用して出題した場合は、入試終了後、受験者に分かるように本学ホームページ等で公表します。
- (3) 「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学一覧は、次のURLをご覧ください。
<https://www.nyushikakomon.jp/>

11 合格者発表

(1) 発表日時

国際学部・農学部	令和8年2月11日(水) 14時
地域デザイン科学部・工学部	令和8年3月6日(金) 14時

(2) 通知

合格者には「合格通知書」を郵送します。

(3) ホームページでの掲載

ホームページ「<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html>」においても合格者の受験番号を掲載する予定です。これは情報提供サービスの一環で行うものですので、必ず合格通知書により確認してください。

（注）電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

12 入学手続

(1) 手続期間

国際学部・農学部	令和8年2月17日(火)～18日(水) [ただし、18日は17時までに必着とします。]
地域デザイン科学部・工学部	令和8年3月13日(金)～15日(日)

※手続期間内に入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

(2) 入学手続方法

入学手続に関する書類は、「合格通知書」送付の際に同封します。

(3) 入学手続時に必要な納付金等

ア 入学料 282,000円

※1 入学料は予定額ですので、改定されることがあります。

※2 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ 学生教育研究災害傷害保険及び賠償責任保険料（4年間分）[令和7年4月現在]
4,660円

ウ TOEIC IP テスト受験料（5回分） 12,900円 [令和7年4月現在]

エ 洋書多読システム等（1年間分） 6,820円

(4) 入学後に必要な諸経費

ア 授業料 535,800円（年額）

※1 授業料は予定額ですので、改定されることがあります。

※2 在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※3 授業料は、半期分（267,900円）をそれぞれ指定された銀行預金口座からの自動引落
しによる口座振替の方法で納付することになります。（前期分授業料口座振替日は5月下旬）

イ 教科書代 自己負担となります。

ウ 実験・実習費 自己負担になることがあります。

(5) マイナンバーカードの使用について

宇都宮大学では、令和3年度入学者からマイナンバーカードを図書館での館外貸出や夜間休日
等の本学建物への入棟の際などに活用しています。詳細については、本学ホームページ「<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/convenient/campuslife/gakuseisyo.php>」をご確認ください。

なお、マイナンバーカードの取得には、1～2か月程度かかりますので早めに手続きをお願い
します。マイナンバーカードの申請方法等については、地方公共団体情報システム機構のマイナ
ンバーカード総合サイト「<https://www.kojinbango-card.go.jp/apprec/>」をご確認ください。

13 その他

(1) 私費外国人留学生選抜に関して不明な点は、次に照会してください。

〒321-8505 宇都宮市峰町350
宇都宮大学学務部入試課
TEL 028 (649) 5112

※入学試験に関する問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。

※受付時間：平日 9:00～17:00

(2) 受験者に対する宿泊のあっせんは行いません。

14 令和7年度私費外国人留学生選抜入学者選抜状況

学部名	学科・分野等名	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
地域 デザイン 科学部	コミュニティデザイン学科	若干名	0	0	0	0
	建築都市デザイン学科	若干名	3	1	1	1
	社会基盤デザイン学科	若干名	0	0	0	0
	計		3	1	1	1
国際学部	国際学科	5名	10	9	5	4
	計		10	9	5	4
工学部	基盤工学科	若干名	3	2	1	1
	計		3	2	1	1
農学部	生物資源科学科	若干名	0	0	0	0
	応用生命化学科	若干名	0	0	0	0
	農業環境工学科	若干名	0	0	0	0
	農業経済学科	若干名	2	2	0	0
	森林科学科	若干名	0	0	0	0
	計		2	2	0	0
合計			18	14	7	6

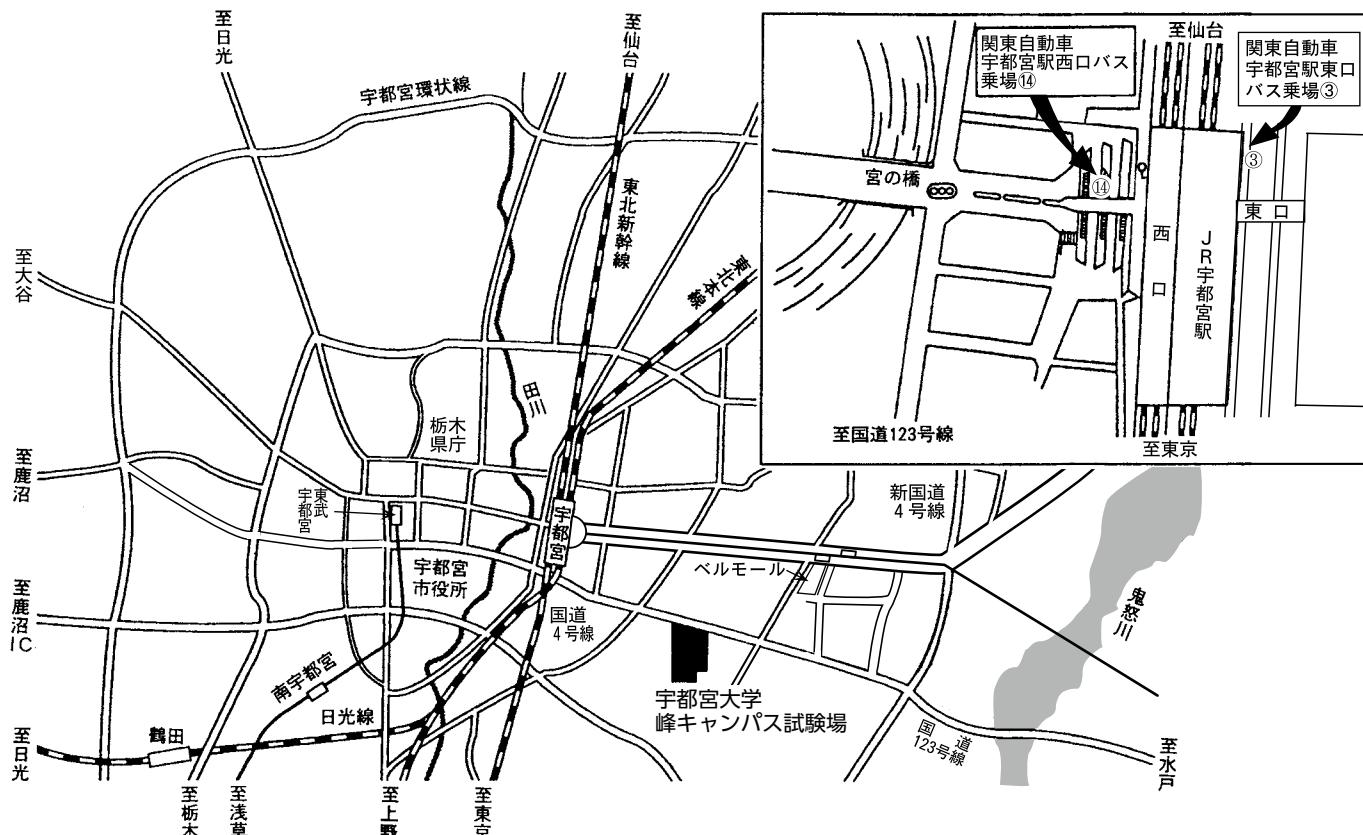
15 試験場案内図

・ 東京都内から本学最寄り駅までの所要時間

- 東京駅から JR 宇都宮駅 東北新幹線利用 約 1 時間
上野東京ライン・宇都宮線利用 約 2 時間
- 新宿駅から JR 宇都宮駅 湘南新宿ライン・東北新幹線利用（大宮駅乗換）約 1 時間 15 分
湘南新宿ライン・宇都宮線利用 約 1 時間 50 分
- 浅草駅から東武宇都宮駅 東武スカイツリーライン・東武日光線、東武宇都宮線利用
(曳舟、南栗橋、新栃木駅など乗換) 約 2 時間 30 分
- 羽田空港から 関東自動車バス利用 約 3 時間

・ 仙台から本学最寄り駅までの所要時間

- 仙台駅から JR 宇都宮駅 東北新幹線利用 約 1 時間 20 分



・ JR 宇都宮駅及び東武宇都宮駅からのアクセス

◎ 宇都宮大学峰キャンパス試験場 (JR 宇都宮駅から約 2.2km)

- 関東自動車 (真岡, 益子, 星の杜中学校・高等学校, ベルモール行など)

… JR 宇都宮駅西口バス乗場④から乗車約 10 分「宇都宮大学前」下車 徒歩 1 分

… 東武宇都宮駅バス乗場から乗車約 20 分「宇都宮大学前」下車 徒歩 1 分

- 関東自動車 (御園地循環, ベルモール行)

… JR 宇都宮駅東口バス乗場③から乗車約 10 分「宇都宮大学前」下車 徒歩 1 分

[参考]

関東自動車(株)本社路線バス部 TEL 0570-031811



宇都宮大学 受験生ポータルサイト

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/>

又は右図二次元コードでご確認ください。

